行事報告書

印刷日時：2020/03/23 14:52:44

	行事ID	158	事業所名	はぐくみ鶴見緑地教室	
作成日	令和2年1月9日(木)		計画作成者	甲斐美咲	責任者	土門弘治

実施日	令和2年2月22日(土)	雨天時	決行	実施区分	実施
行事	制作「マーブリング制作」				
行き先		移動手段			
目的	・マーブリングの技法を知り表現することを楽しむ。 ・自ら色を選ぶなかで色に対する興味、関心を深める。 ・偶然できた模様から想像力を働かせて造形活動を楽しむ。				
内容	絵画技法のモダンテクニックのひとつである「マーブリング」。偶然作り出される大理石のような模様は繊細でとても魅力的で、身近なアイテムを活用して手軽に表現する ①マーブリング水溶液の入ったバットに水で溶いたアクリル絵の具をスポイトで１滴垂らす更に異なる絵具を垂らしバット全体に色を広げる				
参加人数	9人				
職員人数	7人				

行事報告ID	94	報告日	2020/03/01 (日)	報告者	阿部美穂

計画：Plan　評点	
4	・マーブリングとは何かを知ることが出来る。 ・自分で好きな色を選ぶ事が出来自己決定の機会を設けることが出来る。 ・実際に行うことで実際に思っていた通りの物なのかまた新たな発見に繋がる可能性を導くことが出来る。
実行：Do　評点	
3	・行程的には難しくなく児童が好きな色を選び周りを見ながら順序良く出来ており周りのお友達と自分の物を比較しながらいろいろな発見が実行に移りいろの混じり方、模様等、皆が違った物になっていたので個々のオリジナルの作品となっていました。
評価：Check　評点	
3	・皆が同じ模様や同じ色になることが無い為もう1回してみたいという声が上がっていたのでまた制作の機会に行っても良いのではと思います。
改善：Action	
	特に無し
改善要望	
	特に無し

行事報告書

印刷日時：2020/03/23 14:52:44

	行事ID	158	事業所名	はぐくみ鶴見緑地教室	
作成日	令和2年1月9日(木)		計画作成者	甲斐美咲	責任者	土門弘治

実施日	令和2年2月22日(土)	雨天時	決行	実施区分	実施
行事	制作「マーブリング制作」				
行き先		移動手段			
目的	・マーブリングの技法を知り表現することを楽しむ。 ・自ら色を選ぶなかで色に対する興味、関心を深める。 ・偶然できた模様から想像力を働かせて造形活動を楽しむ。				
内容	絵画技法のモダンテクニックのひとつである「マーブリング」。偶然作り出される大理石のような模様は繊細でとても魅力的で、身近なアイテムを活用して手軽に表現する ①マーブリング水溶液の入ったバットに水で溶いたアクリル絵の具をスポイトで１滴垂らす更に異なる絵具を垂らしバット全体に色を広げる				
参加人数	9人				
職員人数	7人				

行事報告ID	92	報告日	2020/02/24 (月)	報告者	甲斐美咲

計画：Plan	評点
4	・マーブリングの技法を知り表現することを楽しむ。 ・自ら色を選ぶなかで色に対する興味、関心を深める。 ・偶然できた模様から想像力を働かせて造形活動を楽しむ。
実行：Do	**評点**
4	以前は見本品の掲示＋手順書を見せながら全体への口頭での説明のみで活動に入り子どもに合わせて個別で声掛けや手助けをしながら進めていたが、今回は最初に全体の前で実際に全ての工程をやって見せたことで制作活動に興味が向きにくい子どもも引き付けられる姿が見られた。
評価：Check	**評点**
4	専用の道具ではないので、絵の具が広がりやすかったり逆に思うように広がらないという事もあったが子ども達にとっては、それも予想とはまた違う結果や模様に繋がり楽しめたようで何枚も取り組んだり集中して色や絵の具の量を調節したりと意欲的に取り組めていたところが良かった。
改善：Action	
	特になし。
改善要望	
	特になし。

行事報告書

印刷日時：2020/03/23 14:52:44

	行事ID	158	事業所名	はぐくみ鶴見緑地教室	
作成日	令和2年1月9日(木)		計画作成者	甲斐美咲	責任者	土門弘治

実施日	令和2年2月22日(土)	雨天時	決行	実施区分	実施
行事	制作「マーブリング制作」				
行き先		移動手段			
目的	・マーブリングの技法を知り表現することを楽しむ。 ・自ら色を選ぶなかで色に対する興味、関心を深める。 ・偶然できた模様から想像力を働かせて造形活動を楽しむ。				
内容	絵画技法のモダンテクニックのひとつである「マーブリング」。偶然作り出される大理石のような模様は繊細でとても魅力的で、身近なアイテムを活用して手軽に表現する ①マーブリング水溶液の入ったバットに水で溶いたアクリル絵の具をスポイトで１滴垂らす更に異なる絵具を垂らしバット全体に色を広げる				
参加人数	9人				
職員人数	7人				

行事報告ID	91	報告日	2020/02/24 (月)	報告者	乗上彩花

計画：Plan	評点
4	馴染みのある「筆や色鉛筆を使って塗る」という方法ではなく水溶液・水で溶かしたアクリル絵の具・スポイトを使って普段とは違う色の楽しみ方を知ることが出来ます。

実行：Do	評点
4	実際に説明をしながらどのようにしているかを子供たちに色が混ざる様子を見てもらいました。「この色にしたらこの色に混ざるかな～」「あ！それ僕も使う！」など色んな混ざり方に興味を持って楽しんで参加してくれているようでした。

評価：Check	評点
4	全体的に楽しんで参加しており、説明の際もほとんど声掛けされることなく話を聞くことが出来ていました。皆で色を交換して順番に使うことも出来ていましたし「もう一回！」ともう一度やりたいと希望して満足いくまで参加している子たちもいました。

改善：Action
特にありません。

改善要望
特にありません。

行事報告書

印刷日時：2020/03/23 14:52:44

	行事ID	158	事業所名	はぐくみ鶴見緑地教室	
作成日	令和2年1月9日(木)		計画作成者	甲斐美咲	責任者	土門弘治

実施日	令和2年2月22日(土)	雨天時	決行	実施区分	実施
行事	制作「マーブリング制作」				
行き先		移動手段			
目的	・マーブリングの技法を知り表現することを楽しむ。 ・自ら色を選ぶなかで色に対する興味、関心を深める。 ・偶然できた模様から想像力を働かせて造形活動を楽しむ。				
内容	絵画技法のモダンテクニックのひとつである「マーブリング」。偶然作り出される大理石のような模様は繊細でとても魅力的で、身近なアイテムを活用して手軽に表現する ①マーブリング水溶液の入ったバットに水で溶いたアクリル絵の具をスポイトで１滴垂らす更に異なる絵具を垂らしバット全体に色を広げる				
参加人数	9人				
職員人数	7人				

行事報告ID	93	報告日	2020/02/22 (土)	報告者	岩木亮太

計画：Plan　評点	
4	マーブリングを通して色彩の感覚を養い、様々な種類の絵の具を使うことで色の混ざり具合や濃淡の変化によるグラデーションの変化を自分で工夫して完成させ工作の楽しさを知ることができます。
実行：Do　評点	
4	実際にマーブリングをやる前に、色を使って混ざる様子を見てもらい完成形を事前に見せていたので、始める前からどの色を使うかなどのイメージができていたので色選びもスムーズに行うことができ、どんな模様になるかを創造しながら作っていました。
評価：Check　評点	
4	色を紙に移して出来上がった模様をみて、イメージ通りできた子や、思っていたより色が混ざらなかったり薄かったり十人十色なマーブリングができました。もう一度やりたいと希望し挑戦していた子が多かったので楽しんで行っていました。 行っていました。
改善：Action	
	特になし。
改善要望	
	特になし。